

結納の形式・口上と進め方

◎仲人なし両家が女性宅に会して行う場合 関東式結納

最近では結納式に仲人を立てない場合が増えています。
そのため、女性宅やホテルでの結納は、両家揃って行われます。

玄関先での挨拶

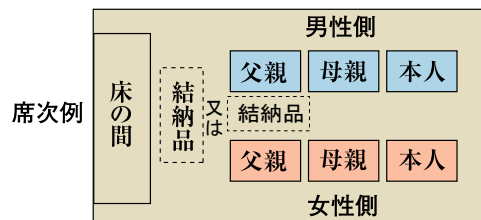
男性側の到着(女性宅)
女性側が揃って出迎えます。

お部屋へ入室

結納を飾る

結納品を男性側が飾る
※受書を男性側が用意してくる場合は前もって渡しておく。

結納式開始



通常関東式の結納は父親の前に並べて、女性側に差し出す形が多いです。
ただし結納セットの台が2枚に分かれている場合など差し出しにくい場合は、床の間の前に飾り目録だけを女性側に差し出していただいても結構です。

男性の父親

「本日はお日柄もよろしく、婚約のしるしに結納の品々を持参いたしました。
幾久しくお納めください。」と述べます。

※席の前に飾った場合は、口上を述べるとともに女性側へ差し出してください。

女性の父親

「ありがとうございます。幾久しくお受けします。」と受け取ります。

※受書がある場合は、「受書でございます。お納めください。」と述べ、男性側に渡します。

※結納返しセットがある場合は、「結納返しの品です。幾久しくお納めください。」と述べ、男性側に渡します。

※受書、結納返し両方ある場合は、①受書の受け渡し、②結納返しの受け渡しの順番で行ってください。

男性の父親

※受書がある場合は「拝見します。」と述べて受け取り、受書を確認します。「お受け取りいただき、
ありがとうございました。」と挨拶します。

※結納返しがある場合は「ありがとうございます。幾久しくお受けします。」と受け取ります。

受書、結納返しが無い場合は、このステップはとばしてください。

男性の父親

「婚約が整い、ありがとうございます。今後共どうぞ、よろしくお願いします。」
と挨拶を述べます。

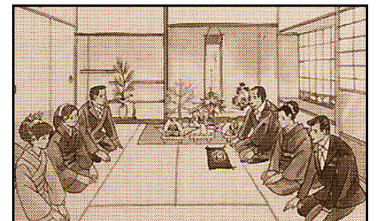
※この後、両家が簡単な挨拶を交わしたり、二人がお礼の挨拶をするのも良いでしょう。

歓 談

桜湯やお千菓子などで歓談し、頃合いを見計らってお祝膳を出します。

会 食

女性の父親が「行き届きませんが、二人の
婚約を祝って乾杯したいと思います。」
などと音頭をとって会食に誘います。



あくまで進行の一例ですが、ご参考になれば幸いです。
ホテルやレストランで結納式を行われる場合も、基本的には同じ流れで行ってください。
結納式プランなどで司会者が付く場合は、司会者の進行どおり進めてください。
すばらしい結納式になるよう、お祈りいたしております。